

和歌山県地域両立支援推進チーム
治療と仕事の両立支援対策推進計画（4か年計画）

令和5年8月決定

1 これまでの取組と現状、課題

和歌山県地域両立支援推進チーム（以下「推進チーム」という。）は、平成29年7月20日に発足して以来、令和4年度に至るまで合計6回会議（書面会議含む）を開催し、この間、リーフレットや相談窓口一覧表の作成・配布等の取組を行ってきたところである。

しかしながら、和歌山産業保健総合支援センターが令和4年度に実施した「治療と仕事の両立支援」事業場での取組状況＝アンケート調査報告＝によれば、「治療と仕事の両立支援を知っている」とした事業場の割合は55%に止まっており、さらに、治療しながら働く人の割合は56%を占めており、労働者の高齢化とともに、今後も増加が見込まれる。

このような状況の中、推進チームとしては、より一層積極的に治療と仕事の両立支援（以下、両立支援という。）の周知啓発に取り組む必要があることから、本計画を定め、構成員の連携の下、具体的な取組を推進することとする。

2 計画期間

令和5年度から令和8年度までの4か年

3 計画の目標

4年間の目標は、次のとおりとする。

- (1) 県内に広く両立支援の気運の醸成を図る。
- (2) 両立支援を必要とする労働者の働きやすい環境整備を推進するため、「事業場における両立支援のためのガイドライン」及び「企業・医療機関連携マニュアル」の県内企業、特に中小企業への浸透を図る。
- (3) 両立支援の認知度を80%以上とする。（令和4年度調査55%）
- (4) 県内の両立支援コーディネーター基礎研修の受講者数を300人とする。（令和4年度末現在116人）
- (5) 両立支援における相談機関のネットワーク構築

4 具体的な取組（各年度の取組）

令和5年度

- ・ 治療と仕事の両立支援シンポジウムの開催
- ・ 両立支援コーディネーター基礎研修の受講勧奨
- ・ 両立支援コーディネーターを対象とした事例検討会の開催
- ・ 好事例の収集、各種支援策の周知

令和6年度

- ・ 両立支援コーディネーター基礎研修の受講勧奨
- ・ 両立支援コーディネーターを対象とした事例検討会の開催
- ・ 好事例の収集、各種支援策の周知

令和7年度

- ・ 両立支援コーディネーター基礎研修の受講勸奨
- ・ 両立支援コーディネーターを対象とした事例検討会の開催
- ・ 県内事業場の取組事例集の作成、各種支援策の周知

令和8年度

- ・ 「治療と仕事の両立支援」事業場での取組状況のアンケート実施
- ・ 両立支援コーディネーター基礎研修の受講勸奨
- ・ 両立支援コーディネーターを対象とした事例検討会の開催
- ・ 県内事業場の取組事例集（改訂版）の作成、各種支援策の周知